

作成：平成 18 年 12 月 12 日

修正：平成 25 年 2 月 25 日

電子メールの利用手引き

目次

1.	サービスの概要.....	1
2.	利用上の留意点について.....	1
3.	メールサービスを利用する.....	2
3.1.	Active!mail を利用する	2
3.2.	他のメールソフトを利用する.....	2
3.3.	Active!mail と他のメールソフトとの併用について.....	3
4.	メールに関する制限事項.....	3
4.1.	ネチケット対策.....	3
4.2.	迷惑メール対策.....	4
4.3.	ウイルスメール対策.....	4
4.4.	ごみ箱・迷惑メールボックスの一定期間経過メールの削除.....	5
5.	免責事項	5

1. サービスの概要

メールサービスは、教育研究活動を円滑に進めるためのコミュニケーション手段として提供しています。

情報センターではメールの送受信手段として、Web ブラウザから利用できるメールソフト「Active!mail」を提供しています。インターネットに接続できる環境で Web ブラウザがインストールされているパソコンがあれば、どこからでも電子メールの送受信が可能です。

また、利用を促進する目的で Active!mail 以外のメールソフトでも送受信できる環境を提供しています。

2. 利用上の留意点について

メールを受信する領域は各個人に割当量が設定されており、この割当量を超えて利用することはできません。割当量に達した場合はメールが受信されなくなりますので、留意してご利用ください。

3. メールサービスを利用する

3.1. Active!mail を利用する

情報センターでは、Active!mail を使ってメールを送受信する方法を公式にサポートしています。以下の URL に Web ブラウザでアクセスしてください。

URL : <https://webmail.kyoto-su.ac.jp/>

(本学 Web サイト HOME → 在学生の方へ → Active!mail)

なお、Active!mail を利用する際にユーザ ID とパスワードを必要とします。ユーザ ID とパスワードは、情報処理教室と同じユーザ ID とパスワードを使用してください。また、Active!mail の利用に関する詳しい説明は、「Active!mail 利用マニュアル」で行っています。そちらをご覧ください。

3.2. 他のメールソフトを利用する

Active!mail 以外のメールソフトでメールサービスを利用することもできます。その際は、メールソフトにメールサーバ等の情報を設定する必要があります。設定情報はメールソフトによって表記が変わりますが、一般的には次の項目の設定が必要です。

【表 1 主な設定項目】

項目	値
名前	フルネーム (ローマ字)
アカウント	ユーザ ID
パスワード	パスワード
メールアドレス	メールアドレス (xxxx@cc.kyoto-su.ac.jp)
メール送信サーバ (SMTP サーバ)	cemail.kyoto-su.ac.jp
メール受信サーバ (IMAP サーバ)	ccimap41.kyoto-su.ac.jp
メール受信サーバ (POP3 サーバ)	ccpop3.kyoto-su.ac.jp

また、メール送信サーバおよびメール受信サーバに接続する際、ユーザ ID とパスワードを必要とします。ユーザ ID とパスワードは、情報処理教室と同じユーザ ID とパスワードを使用してください。

さらに情報センターではセキュリティの事を考慮し、SSL による暗号化に対応したメールの送受信環境を提供しています。メール送信サーバおよびメール受信サーバの設定において「SSL を使用する」というオプションを入れる必要があります。設定情報はメールソフトによって表記が異なりますが、一般的には次の項目の設定が必要です。

【表2 SSLに関する設定情報】

項目	サーバ名	ポート番号
メール送信サーバ (SMTP サーバ)	ccmail.kyoto-su.ac.jp	465
メール受信サーバ (IMAP サーバ)	ccimap41.kyoto-su.ac.jp	993
メール受信サーバ (POP3 サーバ)	ccpop3.kyoto-su.ac.jp	995

メールソフトの設定方法は、それぞれのマニュアルやヘルプをご覧ください。

なお、代表的なメールソフトの設定方法については「コンピュータ環境の使い方」内のドキュメント「Active!mail 以外のメールソフトでメールを送受信する」で説明していますので、そちらをご覧ください。

3.3. Active!mail と他のメールソフトとの併用について

Active!mail と他のメールソフトとの併用を考える場合は、他のメールソフトの受信サーバとして IMAP を選択することをお勧めします。

これは、POP3 と IMAP との通信方式の違いによるものです。POP3 はメールソフトでメールを受信する際、サーバからクライアントに全てのメールをダウンロードし、クライアント側で操作・管理します。それに対し、IMAP はメールソフトでメールを受信する際、サーバでメールを全て扱い、サーバ側で操作・管理します。

そして、Active!mail は IMAP に対応した Web 型のメールソフトであるため、Active!mail と他のメールソフトとを併用して利用する場合、他のメールソフトの受信設定で IMAP を選択すると両方でメールを読むことができます。

しかし、受信設定で POP3 を選択しているメールソフトで読んだメールは、クライアントにダウンロードされてしまうため Active!mail で読むことができなくなります。

Active!mail と他のメールソフトを併用する場合は、以上のことに気をつけて利用してください。

4. メールに関する制限事項

迷惑メールやウイルスメール等が増加し、メールを取り巻く環境は厳しくなっています。現在、情報センターではメール環境の保全のため、次の項目の制限を行っています。

4.1. ネチケット対策

メールのサイズが大きくなると、送信先に迷惑をかけたり、届かない可能性があります。そのため本学では、メールのサイズが 10Mbytes を超える場合、該当のメールを送受信できないよう設定しています。

ただし、メールにファイルを添付する場合、メールのサイズは実際のファイルサイズよ

り 1.3 倍程大きくなるため、添付するファイルサイズは目安として 7Mbytes 以下にしてください。

4.2. 迷惑メール対策

迷惑メール対策装置にて、インターネットから送信されてくるメールの情報を機械的に判定しています。迷惑メールの可能性が高いと判定したときはメール（メールヘッダ）に特定の目印を付け、迷惑メールを別のフォルダに振り分ける作業を利用者で簡単に行える環境を提供しています。

また迷惑メールは、メール受信者が返信することができないメールアドレスで送信することがあります。これは送信してきた相手にメールを返信しようと思ってもできなくなり、迷惑をかけることになり、ネチケツに反します。この様な条件に合致する場合、メールサーバで該当のメールを拒否するよう設定しています。

メールサーバでは以下の条件に合致するメールを拒否するよう設定しています。

- 送信者のメールアドレスのドメインが FQDN（メールアドレスをドメイン名まで省略せず記述する形式）になっていない場合
- 送信者のメールアドレスのドメインが DNS の A レコード（ホスト名から IP アドレスへの関連付けを行うための設定）や MX レコード（ドメイン宛てのメールをホストへ回送する処理を行うための設定）を持たない場合

4.3. ウイルスメール対策

ウイルス駆除装置にて、インターネットから送信されてくるメールのウイルス駆除を行っています。

さらに、ウイルスメールの添付ファイルに使われやすい拡張子のファイルがある場合は、メールサーバ上で該当するメールを拒否するよう設定しています。現在、以下の拡張子を拒否するよう設定しています。

ade	adp	bat	chm	cmd	com	cpl	exe
hta	ins	isp	jse	lib	lnk	mde	msc
msi	msp	mst	pif	reg	scr	sct	shb
src	sys	url	vb	vbe	vbs	vxd	wsc
wsf	wsh						

4.4. ごみ箱・迷惑メールボックスの一定期間経過メールの削除

Active! mail で以下のメールボックスにあるメールは、移動してから 30 日を経過した日に削除されます。

- ごみ箱
- 迷惑メール

ただし、上記メールボックスに移動後に「未読から既読にする」、「マークを付ける」等、変化があったメールは、変化してから 30 日を経過した日に削除されます。

【表 3 削除タイミング(例)】

条件	削除されるタイミング
4/1 に受信箱に受信したメール	削除されません
4/1 に受信箱に受信し、 5/1 にごみ箱へ移動したメール	6/1 に削除されます
4/1 に受信箱に受信し、 5/1 にごみ箱へ移動、 5/9 にごみ箱で再度読んだメール	5/1 以降変化が無い場合、6/1 に削除 されます

5. 免責事項

電子メールは定期保守、停電、その他偶発的な事故により停止することがあります。また、情報センターでは電子メールソフトとして「Active!mail」をサポートしています。その他のメールソフトの利用については、十分なサポートができない場合がありますのでご注意ください。